

ケアセンターけやき

門傳 尋子（介護福祉士、相談員／デイサービス）

- 功 績** 特定施設に入居されていた利用者さんのお看取り後、次の利用者さんが決まらずにいたところ、デイサービスの門傳が、通われている利用者さんの困りごとをキャッチし、ご家族、在宅のケアマネージャーに、けやきの入居施設利用を勧め、ショートステイ利用や入居へとつなげ、入居の稼働に貢献した功績。
- 推 薦 者** 河井ともみ（入所 主任 看護師）
- 推 薦 理 由** 常に利用者さん、ご家族の状況をキャッチし、困りごとが相談しやすい関係性が構築できしており、ケアマネージャーや、他部署との連携がとれているからこそ、デイサービスの稼働を維持しながら、かつ入居の稼働にも貢献してくれたと考えます。
- これは自事業所の運営だけにとどまらず、各事業所が一つとなって予算を達成し理念実現に向けたコラボレーション（協）であり、理事長賞に値するとし推薦いたします。

内 容

特定施設に入居されていた利用者さんのお看取り後（7月上旬）、入居申し込みをされていた方々に連絡をするも、他の施設に入居されていたり、もう少し在宅で過ごしたい等で、次の利用者さんがなかなか決まらない状況となった。

その状況を会議で全部署へ共有。そこでデイサービスの門傳は、2名のショートステイ利用者を紹介。一人は自己送迎でデイサービスを利用している利用者さんのご家族から「デイサービスが大好きな母だが、車が壊れてしまい送迎できないため休みたい」との申し出をうけた。

すぐに入居主任に相談をしてくれ、門傳は、ご家族に、車の修理が終わるまで、けやきの自費でのショートステイを利用しながらデイサービスに通ってはどうかと勧め、ショートステイを利用していただくことになる（ご逝去された5日後）。

また、もう一名は、デイサービスのお迎えに行った際「転倒し骨折はないものの、腰痛があり不安だ」とご家族から聞き、ケアマネージャーと連絡を取られ、腰痛が治るまでの間、けやきの自費ショートステイを利用しながらデイサービスに通っていただく事となる。

その後、二人ともショートステイ利用後、一度ご自宅に帰られるも、特定施設での生活を利用者さん、ご家族が非常に気に入っていただき、1人は入居希望を受け即入所となる（8月中旬）。また、もう一人の利用者さんも、是非部屋が空いたら入居したいと入居申込書に登録して頂いた。